

# ふくたんアートニュース 2009年紅葉号

2009年10月26日  
富山福祉短期大学  
社会福祉学科 児童福祉専攻  
(Tel 0766-55-5567)

【制作・編集】  
児登福祉専攻  
造形研究室（村田 透）  
E-mail: tmurata@te.urayama.ac.jp

## 『 様々な素材を貼って表現する 』（氷見市立若葉保育園 年長クラスの子どもたちと）



この活動で使った道具・材料は、木工用ボンド、画用紙、ハサミ、様々な素材（ドングリなどの実、葉、枝、花、ススキ、綿、毛糸、ビーズなど）です。

子ども達は、様々な素材に触れ、その不思議な形や色、手触りや匂い、重さや硬さを体で感じ、自分の発見や喜びを他の子どもに伝えたりしながら、素材から想像を膨らませていきました。好きな素材を選びつつ、子ども達は、それらを画用紙の上に並べたり、重ねたり、ハサミで切ったりしながら、表現したい世界をつくりだしていきました。

その他に、子ども達は木工用ボンドの使い方も学びました。ボンドを素材に直接つけたり、逆に画用紙につけた上に素材を置いたり、素材に合わせてボンドの量を工夫したり、ボンドが乾くまで待ってみたり、様々な試行錯誤を繰り返しながら、自分なりの表現したい世界が出来上がりました。

作品は、保育園に展示しています。是非、ご鑑賞下さい。

### 『 様々な素材を貼って表現する 』を行ないました

日時：平成 21年 10月 21日（水） 10：00～11：30

場所：氷見市立 若葉保育園 対象者：年長クラス（8名）

この活動は、富山福祉短期大学の村田（造形担当）が「季節にかかわる様々な素材に触れ、感じたり考えたり想像したことを自分なりに表現することを楽しむ」をねらいとして、氷見市立若葉保育園のご協力をいただき実施したものです。

子どもたちは、活動のはじめに村田より、秋の季節や木の実や葉っぱについてのお話を聞きました。その後、子どもたちは、秋にかかわる様々な自然の素材に触れ、思い思いのお気に入りの素材を選び、自分なりの世界を表現していきました。

